

HIDA KAMIOKA



“飛騨神岡高校”ってどんな学校？

将来の事、色々悩んだっていい。
大きいに考え可能性を広げられる学校

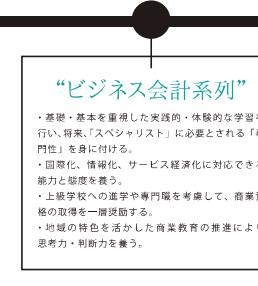
「ぶっちゃけ将来の事ってまだ決まってないけど。。。」と悩むのは
決して悪い事じゃありません。

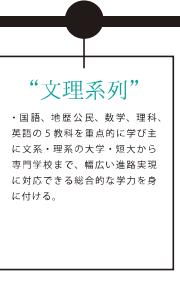
大事な将来の事だからこそ
色々な事を知ってほしい。
進学の事、商業系就職の事、工業系就職の事。
色々な道を先生や仲間と共に出来る。
そんな選択肢がある総合学科という
自分の道を見つける学習が
君の未来の可能性を広げます！



普通科目と専門科目(商業、工業：機械系・電気系)及びスポーツ系科目から80以上の選択科目を用意しています。普通科目を中心に科目を選択すれば、普通高校と変わらない学習内容。専門科目を中心に科目を選択すれば、専門高校と変わらない学習内容になります。2年次生からは、「文理系」「ビジネス会計系」「工業技術系」を選択し系列別に学習します。


“工業技術系”
 工業技術の内、主に機械と電気に関する基礎的な知識と技術、技能を習得させます。実験的な学習を通して工業技術の発展に対する能力と態度を育てる。
 工業技術は興味・同心を持つ、幅広い知識やより高度な技術の習得を目指す姿勢を養い、地域の産業界で活躍できる人材を育成する。


“ビジネス会計系”
 基礎、基本を重視した実践的・体験的な学習を行い、将来、「スペシャリスト」に必要とされる「専門性」を身に付ける。
 地域化、情報化、サービス経済化に対応できる能力と態度を養う。
 上級学校への進学や専門職を考慮して、商業資格の取得を一環目指す。
 地域の特色を活かした商業教育の推進により、思考力、判断力を養う。


“文理系”
 英語、地歴公民、数学、理科、英語の5教科を重視的に学び主に文系、理系の大学、短大から専門学校まで、幅広い進路実現に対応できる総合的な学力を身に付ける。

時間割は自分で作ります。

license 取れる資格

■危険物取扱者
丙種 乙種1類 乙種2類 乙種3類 乙種4類 乙種5類 乙種6類
丙種 乙種1類
電気工事士
第1種 第2種
■電気三種
■技術検定 (技能・フライス等) 3級
■初級 CAD 検定
■ガス溶接技能検定修了者
■機械製図検定
■基礎製図検定
■計算技術検定 2級 3級
■アマチュア無線技士 第4級
■バッコン料用技術検定 2級 3級
■日本商工会議所簿記検定 2級
■全国商業高等専修学校主催簿記実務検定 総合1級
■日本情報処理検定協会
■日本情報処理検定会
日本語ワープロ検定1級
情報処理技術検定 (表計算) 1級
文書デザイン検定1級
プレゼンテーション作成検定1級
■実用英語技能検定 2級 準2級 3級
■日本漢字能力検定 2級準 2級 3級




YOSHIKI



“吉城高校”ってどんな学校？

机に向かうだけが勉強じゃない。
地域へ飛び出して実践しながら学べる学校

学ぶ事は教科書からはみ出た部分もあるんです。
実はそれも大事だったりします。

社会に出てから学ぶ事を
少しでも体験し、感じてもらいたい。
吉城高校ではそんな実践的な課題を
地域の方々と一緒に取り組み
解決していくプロジェクトを実施しています。

街に出て、人と出会い、
共に動くからこそ学べる事がある。
もしかしたら君はまだ
自分の才能に気づいていないかも！？





What's
学科紹介

理数科

普通科

普通科は、四年制大学や短大、専門学校等の公認学校への進学を希望する生徒に向けた授業です。1年次には、自分の進むべき道を考えて進路選択ができるよう毎年開催される「YCKプロジェクト」では、【地域観光】・【地域福祉】・【地域教育】・【地域防災】の4つの分野を柱に、地域行政とも連携した活動を実践しています。地域の方々とともに、実際の課題を解決する能力を身に付けています。2年次からは文系と理系にクラスが分けられ、それぞれの進路目標の実現に向けて学習に取り組みます。吉城高校の普通科は、国公立・私立・四年制大学への進学や就職までの幅広い進路希望に対応しています。YCKプロジェクトなどボランティア活動への積極的な参加や、生徒会活動や部活動に一所懸命取り組み、推薦入試やAO入試での入学や公認の合格者が多いのが特徴です。就職希望者には向けては、インターンシップに始まり、就職模擬試験、志望理由書の書き方から面接まで、手厚いフォローにより、ほとんどの生徒が第一希望の企業に就職しています。



地域観光って？

飛騨市を中心とした地域の伝統文化の継承のため、「古川祭り保存会」の方々を学校に招いて講演会を開催したり、真剣部で祭りに関する活動を教材に実施しています。近年、外国人観光客が増加している「古川まつり」(毎年4月19・20日)には、英語の授業の一環として、飛騨市に通ずる、古川駅前に観光案内所を設置し、生徒が外国人観光客に観光案内を行なうボランティア活動も行なっています。最先端の研究施設の見学や研修合宿、課題研究発表会など、理数科特有のアドミッションで楽しめる行事があります。理系はもちろん文系への進学にも対応できるカリキュラムで、約半数の生徒が国立大学に進学し、希望の進路を実現しています。



地域福祉って？

近隣の老人福祉施設である「和光園」へ定期的に訪問し、お年寄りの方々と一緒にゲームを楽しんだり、芸能・清掃活動等の交流を行なっています。また、吉城特別支援学校の小学校の生徒と並ぶ「スマイル広場」等を実施しています。今年度は、吉城特別支援学校の生徒が生産活動で作った作品を本校の文化祭で展示及び販売など様々な交流に取り組んでいます。



地域教育って？

夏休みなどに吉城高校生徒が、地元の中学生に勉強を教える「高校生学習サポーター」や、実験などを通して科学の面白さを伝える「小学生サイエンス教室」を実施しています。また、理数科生徒の「課題研究発表会」は、地域の公認館で中学生や市民に公開して行われます。同じく理数科では、飛騨市神岡町にあるノーベル賞を受賞した研究を行っている東京大学宇宙線研究所(通称「カミオカンジ」)を見学し、最先端科学に触れる機会を設けていますが、その研究者や大学院生を招いて、生徒が学習支援を受けています。



地域防災って？

吉城高校の地学部では、古川盆地を野外調査する中で、「古川(国府盆地)の地下に伏在断層があり、その西側が沈降する」との仮説を立て、地形の変遷から盆地の形成の説明を試みました。比較的地震が少ないと言われていた古川盆地に伏在断層があることを推測されました。地域の方々の防災意識を高めることを目的に、学術的にも評価され、岐阜県高等学校品評において、吉城高校が表彰されました(2014-2015年度優秀賞を受賞しました)。また、写真部を中心に、東日本大震災の被災地である南三陸を訪れ、ボランティア活動に参加したり、被災地を撮影し続ける写真家を学校に招いて講演会を開催しました。「被災地の痛みを忘れない」という想いをもって、被災地から送られたひびわらの種を学校や市民農園で育て、収穫した約400個の種をメッセージと共に長島に乗せて飛ばす「パール・リリース」など、「ひまわりプロジェクト」に取組んでいます。

